

AAS（アソシエ・アドバンス・スクール）は、中小企業診断士2次試験に特化した受験機関です。過去問を基軸に置いた学習で、スーパーフレームワークや設問分解練習法など独自の2次試験攻略法を開発してきました。AASでは「表現力×構成力×与件活用力」で答案を作成しています。

【令和2年度・第2次筆記試験】 事例Ⅲ（生産・技術戦略）

この模範解答例は
AAS名古屋が作成しました。

第1問（配点20点）

（a）（40字）

高付加価値でニーズのあるモニュメント製品を製作できる高度な加工技術力を有すること。
（41字）

（b）（40字）

作業チーム間の技術力のバラツキと加工物の大型化により工場が手狭になっていること。
（40字）

第2問（配点40点）

（設問1）

（a）（60字）

モニュメント製品のイメージの摺合わせや打ち合わせなど製作前プロセスに時間を要し製作時間を十分に確保できないことである。

（59字）

（b）（60字）

設計に3次元CADを導入し造形物のイメージの摺合わせを簡便化することで製作前の顧客との打ち合わせを削減することである。

（59字）

（設問2）

（a）（60字）

工程順序や工数見積もりの標準化が確立されておらず適正な製作期間を算定できないため製作期間が生産計画をオーバーすることである。

（61字）

（b）（60字）

工程作業を標準化し受注内容に応じた適正な製作期間を元にした生産計画を策定することで生産計画内に製作を完了させることである。

（59字）

第3問（配点20点）（120字）

活用策は、①ITによるスケジューリング管理で作業スペースの配置を最適化し作業途中の加工物の移動による不稼働を削減すること、②製品の進捗を撮影した動画を各部門と顧客が共有し途上修整することで社内の打ち合わせや最終検査時の修整を削減することである。

（122字）

第4問（配点20点）（120字）

方策は、①計画的なOJT等による各作業チームの技術力の平準化と加工物の大型化に対応した工場の改築により生産能力の充実を図ること、②ホームページでの自社製作物の公開や展示会への出展等によりC社の認知度を高め新規受注先の拡大を図ることである。

（119字）

文責：AAS名古屋 鷲山 はるこ

無断転用・転載を禁じます。